

学校サポートボランティア制度の確立

～オンリーワン・スクール事業の取組から～

平成16年度より本町の幼稚園・小中学校は、園児・児童生徒の特性及び家庭・地域の実情等に応じて、独自の特色ある具体的な重点目標を定め、その目標を達成するためオンリーワン・スクール事業に取り組んできました。大きな成果のひとつとして、学校サポートボランティア制度があります。この制度の立ち上げから、今までの取組を光風台小学校の例で紹介します。

背景

＜サポートボランティア制度の導入＞

現在の子どもたちの学力の特徴として、自分の中で理解はできるがそれを周りに伝えたり、それを基盤にして周りとうまくコミュニケーションを図ったりすることが苦手であることが挙げられます。その課題解決の有効なひとつの手段として、地域と連携した教育、コミュニティスクールを考え、『光小サポートボランティア制度』を導入しました。これは地域のサポーターが学校教育活動に参画することにより、地域とともに協働して児童の生きる力を育むという利点を大事にし、地域との関わりを強化しながら学校を元気にする町のオンリーワン・スクールの事業のひとつとして立ち上げました。期待される効果として、①学びの場の充実と学力向上のプラス効果（学んで得た学力、体験から得た学力、人とのふれあいから得た学力）、②学校の活性化（同質集団の中に異質集団が入るプラス効果）の2点が考えられます。

年度当初に募集のチラシを地域に回覧するとともに、地域掲示板にポスターを貼ってボランティア登録を呼びかけたところ、いろいろなジャンルに70名を超える方が登録していただきました。教職員とサ

ポートボランティアの合同会議を開き、支援授業の計画・調整をするとともに学年割り当てを決定しました。これは様々な行事や活動を通じてサポーターと子どもたちがより心の交流が図れるように設定したのですが、子どもにもサポーターにも好評でした。

事業の概要

光小サポートボランティアの活動の様子を紹介します。

《授業支援の場》

理科の時間に行った液体窒素実験やアルコールロケット実験など、普段の授業では経験できないようなダイナミックな実験に、子どもたちは科学の不思議さと楽しさを実感しました。



体育の時間には、ボール運動などを通じて、運動の苦手な子、技能に課題のある子、もっとうまくなりたい子など子どもの力に応じて、個別にアドバイスするなどしてもらいました。細かいところまで目が届き、子どもたちもできる喜びや運動の楽しさを体験できました。国語の時間には、朝の読書タイムに読み聞かせをしてもらい読書好きの子が増え、俳句などに興味をもって学習するようになりました。

総合学習では自分たちで栽培した大豆を使って豆腐作りをしたり、牛乳パックを使ってリサイクル工作をする予定です。さらに、長期休業中の補充学習であるサマー（ウィンター）スクールに学習指導員として支援してもらっています。

《行事支援の場》

林間学舎では現地までご足労願ひ、レクリエーション指導をしてもらいました。運動会では花笠踊りで歌をうたったり、組体操の練習時には常に補助員として支援してもらい、地域の遊び祭りでは15種目以上のコーナーを作り地域丸ごとでの行事として定着しています。



《安全指導の場》

社会見学や校区探検など校外学習では、一緒に引率してもらい、登下校時には通学路各ポイントに立って安全指導してもらうなど、子どもの安全確保に協力してもらっています。

《環境整備の場》

学校環境の面では、校内の花壇をはじめビオトープ、バタフライ園等の定期的な整備など、環境美化に協力してもらっています。また、町の花いっぱい運動や、町の美化活動にも貢献してもらっています。

今後は、特別授業として6年生の卒業記念として『生きる』をテーマにした講話をしていただく予定です。

期待される効果及び今後の展開

学校サポートボランティア制度を導入して、子どもたちの感想をきくと『授業が楽しくなった。』『わからないところをすぐに教えてもらえるのでよくわかる。』『一緒に遊んでもらえるからいい。』。またサポーターの方の感想を聞くと『子どもから元気をもらっている。』『学校へ行くのが楽しい、生きがいです。』『道であっても声かけられる。』など学校や地域にとってもお互いにプラスの効果が出ています。地域の教育力と学校の教育力、家庭の教育力が相互に補完しあうことで、プラスの相乗的効果が期待できると考えています。今後も、ホップ（地域の人を学校へ）、ステップ（地域に出て体験を）、ジャンプ（地域とともに学習）の三つのステップで学校と地域が連携して、地域に根ざした学校を目指していきたいと考えています。

ここに紹介しました学校サポートボランティア制度は、学校自らが考え、実施してきたもので、現在本町4小学校のうち2校で立ち上がっています。今後も、学校の意志で、学校・家庭・地域の実情に応じた特色ある取組を考え、試行錯誤しながら、地域に誇れる学校をめざし、活動していくことを応援したいと考えています。